

親愛なるベテルスタッフ各位へ

いわゆる（患者）担当なるものの概念についての覚え書き

2024/09/06

曾我 孝志



いわゆる医療は医師の独壇場です。昔からそうだったのでしょうが、当方が始めて赴任した二本松会上山病院の外来では医師の側に看護婦が常時付き添っておりました。小平の武蔵 NCNP では 10 個も並ぶ外来診察室があり、医師一人で診察をしていて驚き、看護婦は付かないのかと問うたところ、人手がないと言われました。青梅の診察室は看護師が付き添っておりました。Meer en Bosch では看護婦がいる部屋が大きく、開きで医師が診察しており、Arnhem（アーネム）も趣は同じでソーシャルワーカーがついておりました。

オランダでは 3 棟ある短期・中期（1-3 月）病棟の診療風景を見てきて、MDT の実際を見てきました。患者は何日か、何週か、あるいは 1-3 月を過ごすこととなります。MDTB Multidisciplinaire Team Benadering はとても自然な雰囲気をもっておりました。「てんかん学の進歩；岩崎学術出版、1987 年、拙稿：343-344 ページ」をご参照あれ。ベテル病棟でのスタッフのお仕事は、対極にある外科目的の治療看護形式での「私の仕事」とは異なっています。とはいえ、医療法があり、診療報酬制度なる是対規則がある日本で MDTB を準備し、まして実践するのは至難です。

さて、話を換えます。入院患者は今日一日をどのように過ごせばよいでしょうか。この一週間でどういう一週間にしましょうか。病棟というこの入れ物の中で。ナースは絶対不足です。忙殺されながら、その日その日の仕事にクタクタです。なのですが、暇な患者から見れば、誰に声をかけたらよいのか、だれなら確かな返事をしてくれるのか、などなど途方に暮れています。

ナースはその日暮らしの商売です。入院患者から見れば、ナースには顔がないかもしれません。今日は日勤、として出勤してくるでしょう。しか

し、患者には、今日は彼女は昼間にいるんだとしか見えないかもしれません。外科ながら、当方も南東北に入院しました。看護師の名前は遂に覚えられませんでした。担当ナースは張り出され、また自己紹介も受けましたが、担当とお話しできたことはありません。ナースは患者からは遠い遠い存在です。

当方の一年前の命日にあたり、MDTBに戻ります。ベーテルのナースは開設以来、ナース以外の病棟スタッフとともに、病棟活動、つまり日課をこなしてきました。これは、いわゆる看護業務の割り当てとは異なる日課です。いいかえれば、分かりやすくは外科看護としてこなす日課とは異なります。これを可能にしているのがMDTBです。その昔はバスに乗って松島水族館まで行きました。のちにOTが認可となり、様を変えた時期もありますが、精神科出身のOT自体がMDTBはおろか、てんかんの作業療法にもなじむことができない（診療報酬制度で教育された？）時期も何回か長期間続きました。この事態もベーテルのMDTBは全てを乗り越えてきました。たまたまの幸いであつたに過ぎないかもしれませんが。

本題に戻ります。患者は先週何を思いながら過ごしましたか。たとえば回診の今日は、何の日でしょうか。この一週間、どう過ごせばよいのでしょうか。これに答える方法は一つしかありません。この一週間は何の一週間であるかをお伝えしましょう。また、どういう一週間にしたいか、聴きましょう。Drが伝えてくれるかもしれません。ならば、ラッキー。

ベーテルは既に十分すぎるほどのMDTBを提供し、毎日まいにち実践し、山のような実績を誇ります。形もあります。しかし、毎日まいにちのように、型崩れします。理由の一つに、即応性に欠けることがあります。海野美千代の訳本にあるように、患者は即応性を求めています。即応できなかった場合は、素直に事態を告げなければなりません。理由の二つは親しみに欠けることで、Shope Jはこう言います。十分に同情的であるかと問います。極端に言えば、十分に同情シンパシーを感じさせるアプローチになっているかが重要です。残念ながら、日本人は国際的には同情を示すのに長けておらず、無理矢理おもてなしの世界で誤魔かします。大切なのは、毎日の挨拶です。極端には、毎日まいにち、毎朝、毎昼、毎夕愛しているよと言えるかどうかです。

さあ、入院患者は41人です。各科のスタッフ数に合わせて振り分けられ

ば、無理を承知で何とか担当を担えるのではないかと。担当の患者には、必ず担当の〇〇さんと声をかけ、ご機嫌伺いをします。言いたいこと、困っていること、頼みたいこと、してほしいことがあるかを尋ねます。急いで帰りたい終業時刻だが、担当の〇〇さん、帰りますよ、何かおっしゃりたいことある、とお聞きます。長話はできないことをきっちり伝えます。

(この項、了)